

I. 会社概要

Q1. 貴社の現社長は創業者から数えて何代目ですか。□の中に数字を記入してください。

	代目
--	----

Q2. 貴社の昨年度（平成 30 年度）の酒類の売上高（酒税込み）は下記のどれにあたりますか。下記 a～g から一つを選んで○印をつけて下さい。

- a. 5 千万円未満
- b. 5 千万円以上～1 億円未満
- c. 1 億円以上～5 億円未満
- d. 5 億円以上～10 億円未満
- e. 10 億円以上～20 億円未満
- f. 20 億円以上～30 億円未満 g. 30 億円以上

Q3.

1) 貴社の昨年度の酒類それぞれの生産量（桶買いを含む）はおよそ何キロリットル (kl) でしたか。

2) 昨年度の酒類ごとの生産量を 10 年前と較べると生産量は増加の傾向ですか、横ばいですか、減少傾向ですか。下記 a～c から一つを選んで○印をつけて下さい。

1)		日本酒	焼酎	果実酒	ビール	その他 ()
	昨年度の生産量(kl)					

2)	10 年前と比べた昨年度生産量	増加傾向	a	a	a	a	a
		横這い	b	b	b	b	b
		減少傾向	c	c	c	c	c

Q4. 貴社の現在の経営者・従業員の構成はどのようなになっていますか。下表に人数を記入してください。1 人の人が複数の業務に従事している場合には、主たる業務の人数として記入して下さい。

	通年雇用者	季節雇用者	合計
杜氏・蔵人 (酒造り)	名	名	名
営業 (酒類販売)	名	名	名
全般管理 (経営者を含む)	名	名	名
合計	名	名	名

II. 経営全般

Q1. 貴社の企業理念（家訓・社是など）はどこまで浸透していると思われますか。下記 a～f に○印をつけて下さい。複数あれば複数回答をお願いします。

- a. 経営者
- b. 管理職
- c. 一般従業員
- d. 主要な納入業者
- e. 主要な販売業者
- f. その他（具体的に

Q2. 競合他社と比べて貴社の強みは何だとお考えですか。下記 a～j に○印をつけて下さい。複数あれば複数回答をお願いします。

- a. 酒類特有のおいしさ
- b. 商品ブランド力
- c. 商品企画力
- d. 価格競争力
- e. 顧客への対応力
- f. 販売店への対応力
- g. 優れた人材力
- h. 製造技能
- i. 資金力
- j. その他（具体的に

Q3. 現在の貴社の経営の実態についておたずねします。下記 a～d から 1 つを選んで○印をつけて下さい。

- a. 創業当時の本業の商品（日本酒）を中心とした経営である
- b. 創業当時の本業の商品（日本酒）とそれを応用した商品を中心とした経営である
- c. 創業当時の本業の商品（日本酒）は継続するものの、それとは異なる業態（たとえば、飲食店など）の経営である
- d. その他（具体的に

Q4. 貴社の酒類事業の経営方針は次のどれに最も近いですか。下記 a～g から 1 つを選んで○印をつけて下さい。

- a. 大いに拡大させる
- b. 少しは拡大させる
- c. ほぼ現状維持でいく
- d. 少々縮小させる

- e. 業種転換する
- f. 事業を売却する
- g. いずれ廃業する

Q5. 貴社は現時点で地域の活性化にどの程度貢献していると思っておられますか。下記 a～e から一つを選んで○印をつけて下さい。

- a. 非常に貢献
- b. かなり貢献
- c. まあまあ貢献
- d. 僅かに貢献
- e. ほとんどない

Q6. 貴社が現在地にある利点は何だと考えておられますか。主な理由を下記 a～j に○印をつけて下さい。複数あれば複数回答をお願いします。

- a. 酒造りに適した水がある
- b. 酒造りに適した空気・湿度・気候などがある
- c. 近隣に酒造に適した米が生産されている
- d. 交通の便がよい
- e. 観光地に近い（接しているなど）
- f. 近隣の消費人口が多い
- g. 地元の支援が得られる
- h. 地域住民として溶け込んでいる
- i. 杜氏が近くにいる
- j. その他（具体的に)

Q7. 貴社で、いま「気がかり・心配ごと」はどんなことでしょうか。主なものを列挙しましたので、下記 a～r に○印をつけて下さい。複数あれば複数回答をお願いします。

- a. 販売の伸び悩み
- b. 製造能力不足
- c. 製造能力過剰
- d. 生産設備の老朽化
- e. 良質な酒造米の入手難
- f. 新商品開発力の不足
- g. 生産技術・製造技能の不足
- h. 優れた人材の不足
- i. 労働力不足

- c. 自社の施設や工場見学会などを実施して、お客様へのサービス提供に努めてきた
- d. 定期的に新商品の情報提供を行ってきた
- e. その他（具体的に _____ ）

Q4. Q3. で d.(情報定期的に新商品の提供を行ってきた)に○をつけられた方にお訪ねします。下記に示した情報提供手段のうち該当する a～g に○印をつけて下さい。複数あれば複数回答をお願いします。

- a. 電子メール
- b. ホームページ
- c. ブログ ○
- d. フェースブック
- e. ダイレクト・メール
- f. 雑誌・新聞広告
- g. その他（具体的に _____ ）

Q5 貴社の主力商品の戦略は主に高級品志向（大吟醸など）ですか、普及品志向ですか。今までの戦略と将来の戦略について下記○の中にマークをつけて下さい。

志向		戦略	これまでの戦略	今後の戦略
a	高級品志向		○	○
b	普及品志向		○	○
c	高級品と普及品を同程度志向		○	○

IV. 酒造経営の総括

貴社の酒類の企業経営において重要と思う項目をあげてみました。そこで、下記の各項目（a～sまで）をこれまで、どの程度重視しておられましたか。また、今後はどの程度重視していくつもりですか。重視する程度は表中に示した3が最高で、0が最低です。項目ごとに1つを選んで下記に○をつけて下さい。

項目	重視する程度				今後重視する程度			
	3	2	1	0	3	2	1	0
a. 家訓・企業理念（家訓・社是など）								
b. 日本酒の事業を中心とした経営								
c. 日本酒以外の事業の多角化								
d. 業務提携・買収・合併の実施								
e. 社会貢献・地域貢献を重視した経営								
f. 経営者のリーダーシップ								
h. 環境問題への取り組み								
i. コスト削減への積極的な取り組み								
j. 高品質化・安定品質への継続的な研究								
k. 伝統的な杜氏・蔵人の優れた技量・熱意								
l. 科学的な方法を取り入れた合理的な製造方法								
m. 時代を先取りした提案型の商品開発								
n. 既存の販売経路を重視した展開								
o. 新規の販売経路を開拓して展開								
p. 社内外の情報ネットワークの拡大								
q. 営業スタッフの育成								
r. 後継者の育成								
s. その他（具体的に)								

その他ご意見等がありましたら自由にご記入下さい

ご多用の中、ご協力いただき誠に有り難うございました。
厚く御礼申し上げます。

代 表	田 中	雅 康	東京理科大学名誉教授
主 査	青 木	茂 男	元青山学院大学大学院教授
主 査	石 崎	忠 司	中央大学名誉教授
	勝 又	一 郎	メタエンジニアリング研究所 首席研究員
	新 田	仁 志	株式会社 KYB-YS 代表取締役社長
	中 嶋	道 靖	関西大学教授
	青 淵	正 幸	立教大学准教授